

掛川市立総合病院・看護部教育委員会

nurse cap ナースキャップ

教育だより
No.38

平成15年12月19日

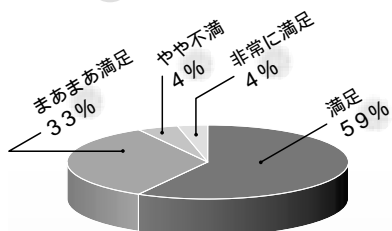
実際に聴診してみましょう



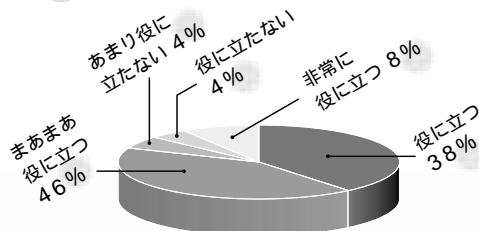
フィジカルアセスメント

研修振り返り集計結果(回収24名)

研修全体について



この研修で体験、理解したことは？



聖隷クリストファー看護大学講師
坂田五月氏

フィジカルアセスメントは医師が主に行うようなことだと感じていたが、患者のそばにいる看護師にこそ必要な技術、知識である。全身隅々まで見るとむずかしく考えていたが、一つの注目する点から全身を見ればよいとわかった。フィジカルの研修一歩前進です。

(松下)

解剖生理の学習が必要である正常がわかっていないと異常がわからない
フィジカルアセスメントは医師が主に行うようなことだと感じていたが、患者のそばにいる看護師にこそ必要な技術、知識である。全身隅々まで見るとむずかしく考えていたが、一つの注目する点から全身を見ればよいとわかった。フィジカルの研修一歩前進です。

アンケート結果として以下の事が多く書かれていました。

研修の資料より



マックバーネー点・ランツ点
マッケンジー徴候

フィジカルアセスメントの講演会が8月27日、9月4日にありました。内容は呼吸・循環・腹部・感覚についてです。この講演会のアンケート結果をみてわかるように、フィジカルの技法・打診・触診の必要性がくわしく説明されました。